

【小学校第5学年の実践】

1 主題名

自分の役割を積極的に果たす【C 勤労、公共の精神】

2 教材

国のため、人のために活躍した英才 榎本 武揚（北海道版道徳教材（小学校高学年用））

3 主題設定の理由【指導観】

(1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

働くことは、人間生活を成立させる上で基本となるものであり、一人一人が働くことよさや大切さを知ることにより、みんなのために働こうとする意欲をもち、社会に対する奉仕や公共の役に立つ喜びをも味わうことができる。働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうことを通して、その意義や役割を理解し、それを現在の自分が学んでいることとのつながりで捉えることは、将来の社会的自立に向けて勤労観や職業観を育む上でも重要なことである。

第5学年の指導に当たっては、勤労が自分のためだけではなく社会生活を支えるものであることを考えさせることが大切である。このため、自分の役割を積極的に果たすことについて多面的・多角的に考え、身近な人から集団へと人との関わりを広げながら、児童一人一人が働く意義や目的を探究することで、みんなのために働くことの意義を理解し、集団の一員として自分の役割を積極的に果たそうとする態度を育てていきたい。

(2) 児童の実態【児童観】

みんなのために働くことの意義を理解し、集団の一員として自分の役割を積極的に果たそうとする態度を育てるために、道徳科以外では次のような指導を行っている。

①社会科

農業、漁業、工業に係る学習では、社会に奉仕することの充実感を知ることができるように、働く人の思いや願いを知り、働くことよさや苦労を考える学習を行った。児童は、働く苦労があるから喜びもあることを知り、働くことの充実感に触れることができた。

②家庭科

家族のために進んで家庭の仕事をしようとする態度を育てるために、自分にできる家庭の仕事について考え、実際に仕事をする学習を行った。児童は、家族が喜ぶ姿を見て、やりがいを感じることもできた。また、継続して行うことの難しさも体験することができた。

③清掃活動の取組

毎日の清掃活動では、力を合わせて仕事をする大切さを理解し、進んで働こうとする態度を育てるために、全員が決められた場所を時間いっぱい掃除するようにしている。掃除することを負担に感じたり、面倒に思ったりする様子も見られていたが、普段はなかなか行き届かない箇所の掃除など、自分ができることを見付け、ひと工夫の掃除を進んで行おうとする姿勢も見られるようになってきた。

様々な活動を通して、みんなのために活動すること（働くこと）の大切さについて考えることができたが、自分が置かれた状況を多面的に捉え、自分の役割について考え、その役割を果たすことについて考える経験は少なかった。

そこで、本時は、武揚が置かれた状況や立場を多面的・多角的に考え、その上で自分が役割を果たすこと大切さについて考えを深めさせたい。

(3) 教材について【教材観】

みんなのために働くことの意義を理解し、集団の一員として自分の役割を積極的に果たそうとすることのよさについて多面的・多角的に考えさせるために、開拓使の役人となった時の榎本武揚の立場や考えを中心に話し合い、価値理解・他者理解・人間理解を深めさせたい。

① 状況を多面的・多角的に観る（捉える）

「残った兵士たちに別れのあいさつをする武揚は、どんな気持ちだったでしょう」（基本発問）を考えることにより、武揚の理想の国をつくるという意志の強さや無念さに気付かせ、人間理解や他者理解を深められるようにする。

また、「反対していた明治政府に協力する武揚の心の中はどのようなようだったか」（中心的な発問）を考えることにより、集団の一員として自分の役割を積極的に果たそうとすることの大切さに気付かせ、価値理解を深められるようにする。

② 自分の生き方について考える

今までの生活の中で、みんなのために働く大切さを感じたことや場面を想起することで、今後どのようにしたいか考えることができるようにする。

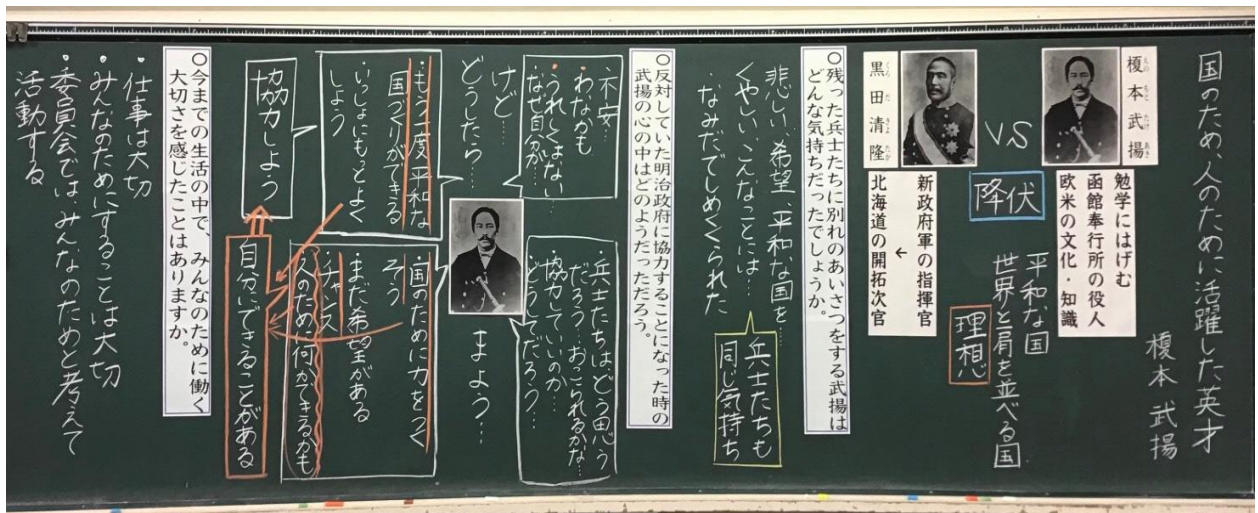
4 ねらい

榎本武揚の生き方に触れることを通して、みんなのために働くことの意義を理解し、集団の一員として自分の役割を積極的に果たそうとする態度を育てる。

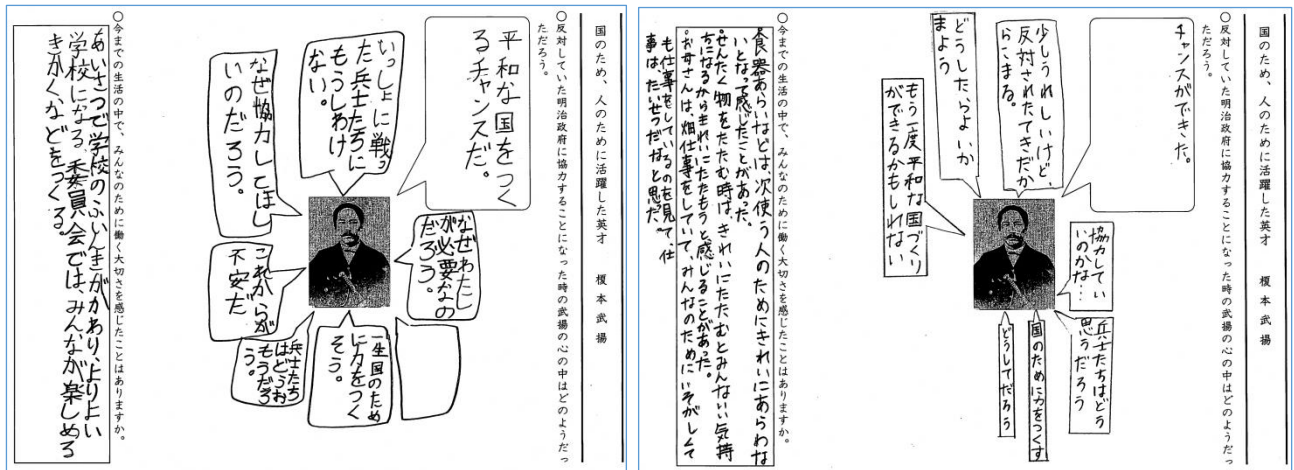
5 学習指導過程

	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習活動 ○ 主な発問 ◎ 中心的な発問 ・ 子どもの反応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導上の留意点 ■ 評価 	<p style="color: red; font-weight: bold;">「考え、議論する道徳」 に向けた工夫</p>
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分が担っている役割について話し合う。 ○ 普段の生活で、どのような役割を担っていますか。 ・ 校内では、委員会活動や係活動があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。 	<p style="color: red; font-weight: bold;">【工夫①】</p> <p>【価値への方向付け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活での自分の役割とその役割を担うことになった理由を考え、主題に関わる課題意識をもたせ、授業全体に対する意識付け、意欲付けを行う。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「国のため、人のために活躍した英才」を読み、話し合う。 ○ 「残った兵士たちに別れのあいさつをする武揚は、どんな気持ちだったでしょう。」 ・ 今まで一緒にがんばってくれて、ありがとう。 ・ 一緒に戦ってくれたのに…本当にすまない。 ・ 今までの努力は決して無駄にはならない。 ◎ 「反対していた明治政府に協力することになった時の武揚の心の中はどのようなだろう。」 ・ 世界と肩を並べるために、北海道に理想の国をつくりたい。 ・ 部下の努力を無駄にするわけにはいかない。 ・ 自分の能力を生かして役に立ちたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武揚が目指したこと、政府に降伏することになったことなどをもとに、武揚のすばらしいところはどこかを中心に考えさせる。 ・ 複雑な心であったことに気付かせ、武揚はどうしてこのような生き方ができたのかを多面的・多角的に考えさせる。 	<p style="color: red; font-weight: bold;">【工夫②】</p> <p>【自分との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の登場人物を自分に置き換えて考えさせ、自分なりに具体的にイメージして、道徳的価値の理解を深めさせる。 <p style="color: red; font-weight: bold;">【工夫③】</p> <p>【多面的・多角的な見方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉えさせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己を見つめる。 ○ 今までの生活の中で、みんなのために働く大切さを感じたことや場面はありますか。 ・ 当番活動などで嫌だと思ふこともあるけど、みんなのためにやるのが大切だと思います。 ・ 仕事や家事をしている母を見て、働くことは大切だと思いました。でも、苦勞も感じました。 ・ ボランティア活動に参加し、よい経験になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の生活をふり返り、自己の生き方について考えさせる。 ■ 集団の一員として、自分の役割を積極的に果たすことの大切さについて、自分との関わりで考えを深めることができたか。 	<p style="color: red; font-weight: bold;">【工夫④】</p> <p>【自己を振り返る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材を読み、話し合った際に見られた児童の多様な発言の中から、集団の一員として自分の役割を積極的に果たすという道徳的価値に焦点化して自分の生活を振り返らせ、自己理解を深め、今後の生活に生かしていこうとする思いを培う。
終 末	<ul style="list-style-type: none"> ● 「みんなの中で君がかがやく」の朗読を聞きながら、本時の学習をふり返る。（「私たちの道徳」P150） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団の一員として自分の役割を積極的に果たそうとする態度が育まれるようにする。 	

6 板書



7 ノート・ワークシート



【授業実践を振り返って】

集団の一員として自分の役割を積極的に果たそうとするよさについて自分との関わりで多面的・多角的に考えることができるよう、武揚の葛藤場面を取り上げ「反対していた明治政府に協力する武揚の心の中はどのようなようだったか。」と問いかけた。その際、複雑な心の中を捉えるために、吹き出し型のワークシートにした。

児童からは、

- ・一緒に戦った兵士たちに申し訳ない
- ・どうしたらよいか迷う…
- ・もう一度平和な国づくりができるチャンスかも知れない
- ・不安だけど、みんなの役に立ちたい

などの記述が見られ、武揚の心の中を多面的な視点で捉えることができた。また、ワークシートを見合いながら交流する場面を設けたことにより、自分では思いつかなかった考えに触れ、思考に広がりが見られた。

また、全体の交流場面で「いろいろな思いがあったのにどうして協力したのか。」と問い返すことで、「自分ができることがあるのではないか。」などの考えが出され、自分の役割を積極的に果たしていくことの大切さについて、さらに考えを深めることができた。